

私のひとこと まちかどインタビュー

「住民の方との対話」を目的に、まちかどインタビューを掲載しています。

乙事の町民広場・研修センター内の【子育てひろばAiAi】は、平成17年に「0〜3歳児の子どもと親が集える場所がほしい」という、子育て中のお母さんたちの熱い思いから始まりました。

その後、いくつかあった子育てサークルなどに呼びかけ「ふじみ子育てネットワーク」が立ち上がりました。徐々に子育てを支える人の輪も広がり、平成17年7月から、(独)福祉医療機構・子育て支援基金の助成を受けて、週4日の



AiAiのスタッフ山口さんとお孫さん

地域の子育てに関わることもとても心地よい

「子育てひろばAiAi」が始まりました。

今年4月からは、富士見町の子育て支援事業として、月々金曜日午前10時から午後3時まで開設されています。

行政に対して自分たちの要望を言うだけではなく、自らも前向きな提案をしながら、まさに行政との協働で作りに上げてきた子育て支援の場です。

山口さんは「自身も働きながら子育てをする中で、たくさんの方に支えられたと感じ、お孫さんが生まれたことをきっかけに、AiAiに参加するようにになりました。現在はいろいろな働き方・生活のスタイルがあります。大人が子どもを育てるのは社会の責任という社会の中で子どもを育てられるのか。いろいろな方にいろいろな形で目を向けて欲しい」と話されています。

また、一番大切なのは「お母さんたちの話を聞いてあげること」だと感じるそうです。



水遊びをする子どもたち

「AiAiで関わっている子どもたちが育つ姿を見るのが一番うれしい。これからは、ぜひ団塊の世代の方、特に男性に関わっていただきたい。ほんの少しでも顔を見せていただけるとうれしい」「先生でも親でもない、一人の近所のおばさんとして地域の子育てに関わることがとても心地よい」と、印象的な言葉をいただきました。

編集後記

国のやる事だから正しい、とは言えなくなってしまうた年金問題には、開いた口もふさがらない程のあまりにもさまざまな問題に、私たちは誰を信じたらよいのでしょうか。

元公安長官も詐欺で逮捕される時代になってしまった日本であります。

地球上の中の富士見町なんて、ほんのちっぽけな町かもしれませんが、我々議会議員はしゆく然と襟を正して次世代の若者が、もうこんなまちは継がないよ、なんて言われたいような町づくりにまい進します。

(織田昭雄)

■議会広報編集委員会

編集委員長 小林 光
副委員長 名取 武一
委員 エンジエル千代子
" 織田 昭雄

ふじみ議会だよりは、議会ホームページにも掲載されています。